

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。  
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

## 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、しては**いけない**「禁止」の内容です この絵表示は、必ず**実行して**いただく「強制」の内容です

<p><b>漏水を逆に配管しないでください。</b> 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p> <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p>	<p><b>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p><b>給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。</b> また、湯側を加圧する場合も湯側圧力を水側より低くしてください。</p> <p>警告</p> <p>給湯圧力を給水圧力より高くすると、正常な温度調節ができなくなり、やけどをすることがあります。</p>	<p><b>給湯に蒸気を使用しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p><b>寒冷地仕様の場合</b> 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p><b>配管などの解水のため解水機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>他所の水栓の使用等により水圧変動が速く、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。</b></p> <p>やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。</p>	

<p><b>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>止水栓取り付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。</b></p> <p>禁止</p> <p>点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>めっき部品は、ぶつたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをすることがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>
<p><b>注意</b></p> <p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておき、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>		

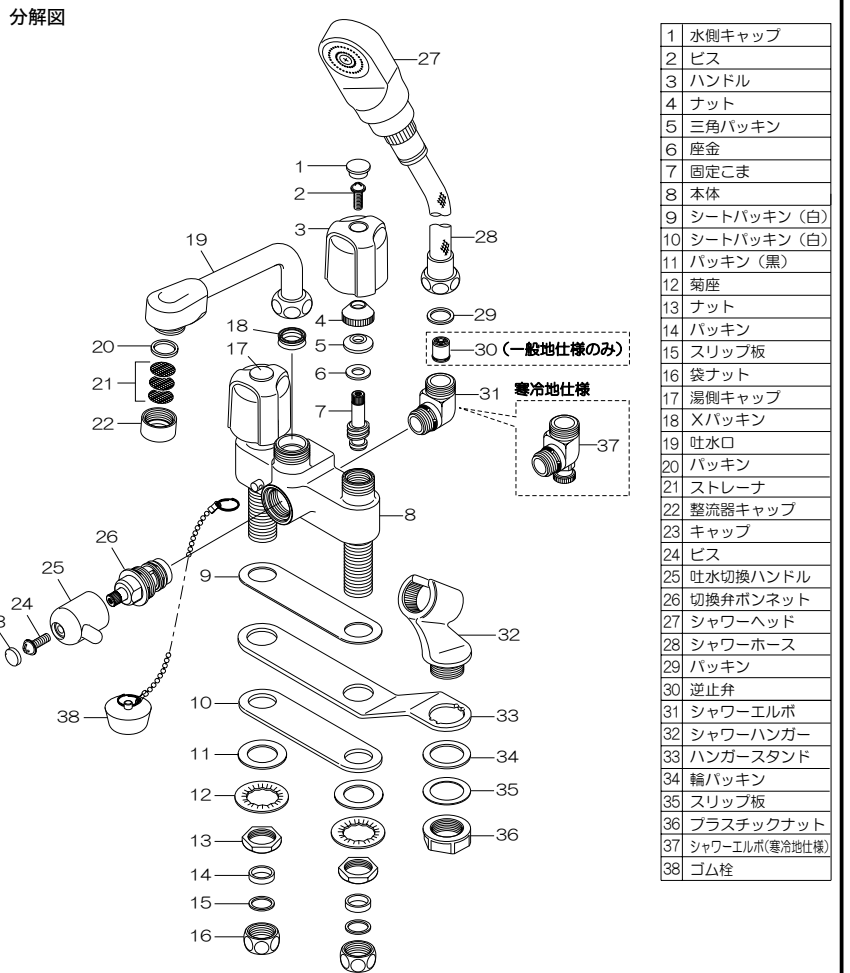
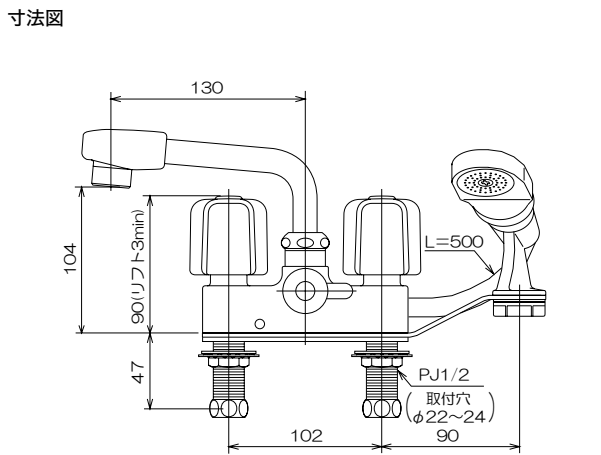
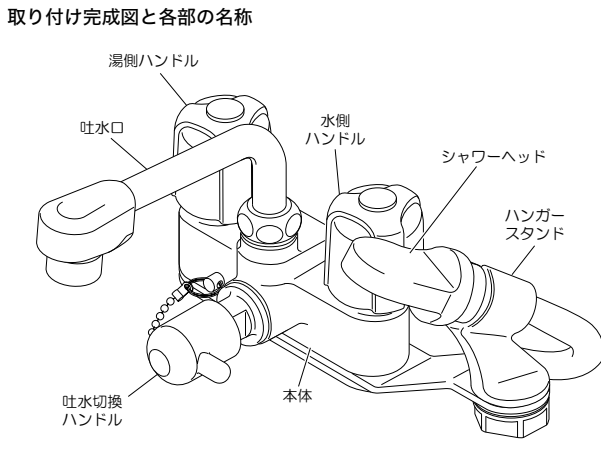
## 取り付け前に

- ① 使用水圧 [A=(給湯機の最低作動水圧)+(配管圧力損失)]
  - (1) 瞬間給湯機との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃ 給湯機温度調節: 高温 吐水温度: 42℃ ハンドル全開)
 

【比例制御式】最低必要水圧: A+50.0kPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
  - (2) 貯湯式給湯機との組み合わせ
 

【給湯・給水圧力】最低必要水圧: A+50.0kPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ③ 給湯機の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ④ 給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑤ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑥ 本製品は改造(加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑦ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

## 取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図



# 取り付け手順

**1 給水管内の清掃**  
配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

**2 止水栓(別売)の取り付け**  
給湯管と給水管の間隔は100mm程度で取り付けます。止水栓はストレーナ付が最適です。寒冷地用は水抜き栓付止水栓を取り付けてください。

ストレーナ付止水栓      水抜き栓付止水栓

100mm      100mm

**3 本体の固定**  
① 本体を締付ナットで固定します。  
② シャワーハンガーの突起部をハンガースタンドの切り欠き部に合わせて差し込み、プラスチックナットで固定します。締め付けは確実に行ってください。

【△注意】  
・ハンドルを持って締め付けますと破損のおそれがありますので、これらは持たないでください。  
・締付ナットの締め付けは、専用工具G4(別売)で行ってください。しっかり締め付けられていないと、本体が揺らんだり、ガタツキが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

専用工具 G4(別売)

本体      ハンドル      シャワーハンガー      突起部      合わせる      切り欠き部      ハンガースタンド      パッキン(白)      スリップ板(白)      プラスチックナット      ②-2 しめる

シート      パッキン      取り付け穴      φ22~24      取り付けピッチ      102mm      ① しめる      締付ナット

**4 シャワーホースの接続**  
シャワーホースをシャワーエルボに取り付けます。

シャワーホース      パッキン      シャワーエルボ

5 ページ

**5 止水栓との接続**

**銅パイプ接続の場合**  
① 銅パイプ(別売)の必要な長さを測り、切断してください。このとき、パイプの差し込み代は20mm確保してください。【お願い】銅パイプの切断はパイプカッターをご使用ください。

銅パイプ(別売)の差し込み代  
差し込み代 20mm確保  
銅パイプ

銅パイプ(別売)      本体      測る      止水栓(別売)

② 本体にパッキン、スリップ板、ナット、銅パイプの順にはめ込みます。銅パイプと止水栓を接続してから、本体と接続します。

【△注意】  
・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締め付け不足、締め付け過ぎにならないようにしてください。(締め付けトルクの目安-約2000N・cm)  
・薄肉の接続管(ニップル等)には、銅パイプを接続しないでください。パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。  
・止水栓がしっかり固定されていることを確認してください。固定されていないと銅パイプが抜け、漏水の原因となります。

1. はめ込む      2. 接続      3. 接続

本体      パッキン      スリップ板      ナット      銅パイプ(別売)      スパナ等

パッキン(別売)      止水栓(別売)

**フレキ管接続の場合**  
フレキ管(別売)のナット部を本体と止水栓(別売)に接続します。

【△注意】  
・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締め付け不足、締め付け過ぎにならないようにしてください。(締め付けトルクの目安-約2000N・cm)

6 ページ

# 取り付け後の点検と清掃

**通水確認**  
【△注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**ストレーナ・シャワーフェイス清掃のお願い**  
吐水口のストレーナや、シャワーヘッドのシャワーフェイスにゴミ等がつかりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

**吐水口のストレーナ清掃**  
① 湯水全開で20~30秒吐水させます。      ③ ストレーナをブラシで水洗いします。  
② 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。

歯ブラシなど      ストレーナ

吐水口      パッキン      ストレーナ3個      整流器キャップ      はずす

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

**シャワーヘッドのシャワーフェイス清掃**  
① 湯水全開で20~30秒吐水させます。      ④ シャワーフェイスをブラシで水洗いします。  
② ビスをはずします。      ③ シャワーフェイスをはずします。

歯ブラシなど      シャワーフェイス

シャワーフェイス      ビス      はずす

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

**湯温・流量調節**  
湯、水ハンドルが全開吐水で湯温、適量になるように、止水弁で調節します。

湯側ハンドル      水側ハンドル      湯側止水弁      止水栓(別売)      水側止水弁

あける      しめる      あける      しめる

7 ページ

# 故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	吐水切換ハンドルはいっぱいまで回っていますか	吐水切換ハンドルをいっぱいまで回す	取扱説明書4ページ「吐水切換方法」
	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません		—
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ「湯温・流量調節」
	ストレーナ・シャワーフェイスにゴミ等がつかっていませんか	ストレーナ・シャワーフェイスを清掃する	7ページ「ストレーナ・シャワーフェイス清掃のお願い」
	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	—
高温しが出ない	ストレーナ・シャワーフェイスは凍っていませんか	ストレーナ・シャワーフェイスにぬるま湯をかける	—
	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ「湯温・流量調節」
低温しが出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ「湯温・流量調節」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ「湯温・流量調節」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
吐水が飛び散る	ストレーナ・シャワーフェイスにゴミ等がつかっていませんか	ストレーナ・シャワーフェイスを清掃する	7ページ「ストレーナ・シャワーフェイス清掃のお願い」
	ストレーナ・シャワーフェイスにゴミ等がつかっていませんか	ストレーナ・シャワーフェイスを清掃する	7ページ「ストレーナ・シャワーフェイス清掃のお願い」

8 ページ